

### 秩父版CCRCとは？

中高年齢者をはじめ、多様な世代が、地域社会に溶け込みながら健康でアクティブな生活を送ることができるコミュニティづくり・まちづくりのこと。



昨年10月号から3月号にかけて、秩父市の生涯活躍のまちづくりについての記事を掲載してきました。

「秩父市生涯活躍のまちづくり構想（秩父版CCRC構想）」で、幅広い年代の移住者を呼び込む「総合事業」と、昭和58年からの姉妹都市交流を続けている豊島区をはじめとした、主に都市部や周辺地域の中高齢者向けのサービス提供拠点を整備して移住していただく「モデル事業」を進めていくことをご紹介しました。この「総合事業」を具体的に進めていくため、4月から「移住相談センター」を開設しています。

## 移住相談センターを

## 開設しています

### 「移住相談センター」とは

4月から、「住んでみたい秩父市、産んでみたい秩父市、住み続けたい秩父市」をテーマに、秩父市への移住を考えている方に向けたワンストップ相談窓口として、地場産センター4階に「移住相談センター」を開設しました。今後は「お試し居住」や子育て支援、就業・起業支援、リフォーム補助などの各種助成制度、ちちぶ空き家バンク推進委員会と連携したツアーなどを展開し、移住者のみならず市民の皆さんも含めた「総合的な移住政策」を提供していく予定です。同センターは都心部で働く方にも利用しやすいよう、土日祝日も営業しています。



### 「空き家バンク」

「ご利用ください！」

秩父市と近隣4町で構成するちちぶ定住自立圏では、空き家の有効活用を通して、圏域住民と都市住民の交流拡大および定住促進による地域の活性化を図るため、空き家バンク推進委員会が「空き家バンク」を開設しています。圏域内の空き家情報をHP上にまとめ、空き家を売りたい側と買いたい側の橋渡しをしています。

利用については、直接事務局へお問い合わせいただくか、「ちちぶ空き家バンク」と検索し、HPをご覧ください。

問 ちちぶ空き家バンク推進委員会事務局 ☎25-0088（地場産センター内）

### 豊島区との職員交流も

はじめました

モデル事業については、豊島区をはじめとした、主に都市部の中高年齢者の移住促進を図っていますが、成功させるためには魅力発信と移住希望者が住みたくなる事業を進めることがカギになると考えています。そこで、4月から両市区の職員をお互いに派遣しており、豊島区から角谷光一さんが着任されました。

相互の連携を密にし、都市部住民のニーズを把握するとともに、豊島区で行われるさまざまなイベントに出展させていただいて多くの方に秩父市をPRしていくなど、この人事交流を実のあるものにしていきます。



問 地域政策課 ☎22-2823  
移住相談センター ☎26-7946